

なばりんく



4・5月号



親子でケーキ教室《名張地区まちづくり推進協議会》福祉まちづくりセンターにて

まちびと探し

今月の
まちびとさん



個人ボランティア
かえで
楓 せつ さん

桔梗が丘小学校図書ボランティアの創始者であり、リーダーとして今も現役で活躍中の楓さんは、今年で14年になるベテランだ。お子さんが小学生の頃、PTAの役員になったのがきっかけで、「図書環境を何とかしたい」と学校と話し合い、活動し始めた。「当初いろんな問題もあり大変だったが、今では先生方の協力もあって図書環境は良くなってきている」と笑顔で話す。

また楓さんは、無類の本好き！本の研究にも余念がない。そんな楓さんのよきアドバイザーは、絵本専門店店主の茅谷さん。力強い相棒を持って図書ボランティアとしての夢も広がる。

「一生懸命選んだ本を読んだ時、子どもたちのキラキラした目の輝きを見るととても嬉しい。子どもたちにもっともっと、本の楽しさを知ってほしい」と語ってくれた。

そして、「地域密着型のボランティアが他の地域でも生まれてくれたらいいと思う」と楓さんの理想はまだまだ、広がっているようだ。

※関連記事を2ページに掲載しています。



地域ピックアップ

桔梗が丘地域《桔梗が丘小学校図書ボランティア》



今年14年目に入るこの活動は、11人で取り組んでいます。司書資格をもつ大学院生や、まだ入会して5ヵ月目というPTAのお母さんと、メンバーはさまざままで、元々本好きな人もいれば、本には興味がなかったという人もいます。でも、そんなメンバーが、口を揃えて言うのは「お話を聞く子どもたちの、キラキラした目を見ると、とても楽しい!!」

そして、ボランティアを始めたのがきっかけで本好きになった人、読み聞かせの練習を家でするため親子の絆が深まったという人、机上の専門論が実践で新たな発見を生むという学生など、それぞれのメンバーの表情はとても明るくて楽しそうです。

2年生への読み聞かせでは、児童が10分もの間身体を乗り出してお話の世界に入り込んでいて、その集中力の凄さに驚いています。

今後は「先生方の協力のもと、もっと本のことを勉強して、子どもたちに楽しさを伝えたい」とメンバー全員が笑顔で語ってくれました。



ボランティア活動紹介

平成27年3月17日、名張高等学校の華道部員4名がボランティアとして「グループホームあみーご鴻之台」を訪れました。「生け花を通して人とふれあいたい」という学生たちの思いから、生け花ボランティアの企画を発案。この日はホームの8名が、学生たちの手を借りて生け花を楽しみました。



名張高等学校《華道部》



初めての対面で最初はお互い緊張気味でしたが、お花を通して自然に会話が弾み、すぐに打ち解けた様子。利用者からは「お花があるとほっこりする」「久しぶりにお花に触れた」と喜びの声が聞かれました。完成した作品は、利用者の居室や施設内に飾られました。

活動の後、学生たちは「初めての挑戦で緊張しましたが、楽しかったです。今後も高齢者をはじめ、保育園などの子どもたちとも生け花を通してふれあっていきたいです」と、頼もしい笑顔を見せてくれました。



トーク ボランティアルーTalk!



まつした ようこ
松下 洋子さん(個人ボランティア)

大阪にいる時から積極的にボランティア活動はしていましたが、名張に移ってからは、何をどうしていいかわからず、しばらく様子を見ながら過ごしていました。

老人福祉センター「ふれあい」や「福祉まちづくりセンター」に通うようになり、多くの方々と出会い、仲間に加えて頂く中で、自然とボランティア登録することが出来ました。

はじめは、年齢が年齢ですので、足手まといにならないか、わたしで役に立つのだろうか、と戸惑い心配でしたが、諸先輩の方々が親切に導いてくださるので、すんなり打ち解け、気負わず、年相応に出来る範囲で楽しくお手伝いさせて頂けるようになりました。今では、名張に来て本当に良かったと感謝しています。

音楽工房



『旅姿三人男』

清水の次郎長といえば、幕末～明治にわたり全国に暴れん坊ぶりを轟かせた、世紀の大親分です。“清水二十八人衆”という子分がいたそうですが、‘大政’‘小政’‘森の石松’は、有名ですね。数々の時代劇や映画などで、その武勇伝も語り継がれてきました。

そして劇中歌の『旅姿三人男』は、昭和14年、ディック・ミネさんがテイック・レコードより発表されました。歌は♪清水～港の名物は～お茶の香りと男伊達～♪と、始まります。‘大政’‘小政’‘森の石松’も登場し、全国的に大ヒットしたそうです。

さて「お茶」の収穫量が一番多い都道府県は静岡県ですが、2位3位は何処と思われますか？正解は、2位・鹿児島。3位・三重。(2014年6月公表)となっています。三重県が3位にランキングされているんですね。緑茶には健康に良い成分が多く含まれており、たくさんの効果があるようです。免疫力アップ、肥満予防、コレステロール値の低下、糖尿病予防、などなど…新茶の美味しい季節がやってきます。お茶で一息もいいですが、“いっしょに唄いませんか”に参加して楽しいひと時を過ごしてみませんか？お待ちしております。

4月5月の

“みんなでいっしょに唄いませんか”

開催日：4月23日(木)
5月11日(月)

上記いずれも

- ◆時間：10:30～11:30
 - ◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあいホール
 - ◆対象：市内在住の
子育て中の親子から
高齢者まで
- ※参加費無料・申込不要

介護者サロン “さくら喫茶”

開催日：毎月第3水曜日

- ◆時間：13:30～15:30
 - ◆内容：小物づくりと茶話会
 - ◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)
 - ◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方等
- ※参加費無料・申込不要

「介護者のつどい」ご報告

3月11日(水)に介護者のつどいを開催し25名の参加がありました。今回は、憩いの里鴻之台ケアホームへ施設見学に行きました。施設では、説明を受けながら施設を見て回り、足湯体験で癒されたり、機能訓練の講習で楽しく学ぶこともできました。また、ケアホームで月1回出されているイベント食を食べながら、参加者同士で交流を行いました。

介護者同士ということで、出会ったばかりの方々も、普段介護をしているという共通の話題で話が弾み、介護体験についてお互いに共感を得ていました。



手づくりレシピ紹介



ホワイトソース

ケチャップ

- ＜材料＞4～5人分
 米・・・3合
 たまねぎ・・・1/2コ
 ベーコン・・・適量
 ブイヨン・・・2コ
 卵・・・1～2コ
 ケチャップ・・・適量
 ホワイトソース・・・適量



ちよとごちそうオムライス

＜作り方＞

- ①ベーコンとたまねぎをバターで炒める。
 - ②お米はブイヨン2コを入れ、少し水分は控えめにし①をいれて炊く。
 - ③卵1～2コをフライパンで焼き、②のご飯を包む。
 - ④オムライスをお皿に盛り、ホワイトソースとケチャップでどうぞ！
- ※グリーンサラダを添えて、ちよっぴり大人のオムライスはいかがですか？

～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか～

提供：山本桂子さん ☆おもちゃばこ等で活動されている個人ボランティア

名張のむかしを歩もう！



10年前に作成した「名張風物詩 100景」只今、市立病院ロビー通路で、日替わり、6作品づつ展示中ですが、隣県各地から、展示依頼殺到中！宇陀市、さるびの、伊賀上野、下柘植、大阪で展示し「名張はいいところ」の声が高くなっている一方、街の灯りが消えるように、大きなのれんの呉服屋さん、蔵が並んでいた酒屋さん、高くのびたエントツのお風呂屋さんが、私の切り絵風景から消えました。一方中町には、「縁夢寿美のお地藏さん」が誕生。過日も大阪で「縁結び物語」を上映したところ、名張観光PRが効いたのか「名張公演は何時!?!」との声もかけられました。

城下川のせせらぎや、竹やぶのさわぐ音、名張の持つ情緒や風情を残すように、名張市社会福祉協議会の「福祉まちづくりセンター」で、切り絵教室を開催計画中です。みんなで「新名張風物詩」をつくりましょう。

おきつもを語る会 かわせ ようじ 川瀬 洋二



協力：おきつもを語る会

(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階
電話番号 62-7388

ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>

発行部数：1,300部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、子ども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、矢の五葉局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ヲワリヤ本店)

《名張市内の中学校では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中！『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます！

次回のなばりんくは6月1日発行